

れんごう中越地協

第951号2017.12.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費を含む



連合中越地協

次年度市政要望書を長岡市に提出

8分野 22項目について要望事項を取りまとめる

連合中越地協は、12月1日(金)に磯田市長を訪問し、18年度長岡市予算に関する「市政要望書」を提出した。また、提出にあたり横澤副議長(政策福祉担当)から、新たに要望した事項等を説明した。

午前11時30分に矢副議長、番場副議長、島議長のほか横澤副議長、渡部副議長、小林事務局長、羽賀副議長、與口局長と多田事務局次長



の四役全員が出席し、磯田市長に要望書を提出した。

提出にあたり横澤副議長(政策福祉担当)が、8分野22項目の要望事項から次の5点について要望趣旨を強調した。

- ▼総括・地方自治 個人情報の大量売買などを目的とした戸籍等の不正取得防止のため、事前登録型本人通知制度を条例化し、周知を強化されたい。
- ▼雇用・労働政策 人権を尊重した公正採用選考ルールの確立のために、学校関係者、企業の採用担当者への研修機会の充実に努めてほしい。
- ▼社会保障、医療、福祉政策 介護離職防止の観点から、地域包括ケアセンターの機能充実、啓発活動の推進など相談窓口を充実されたい。
- ▼防災・まちづくり・交通・運輸政策

ライドシェアや民泊サービスの導入には、慎重な対応を行うよう

中越地域退職者連合セミナー

中越地域退職者連合は、11月30日(木)13時30分から高



「第22回中越地域退職者連合セミナー」を開催し、51名の参加者で開催した。退職者連合加瀬会長と、連合中越横澤副議長との共催挨拶に続き、「みんなであつた。」

流れてきた汚水は、市管理の21箇所の下水処理場で処理され、川に放流される。長岡市の公共下水道等の汚水処理人口普及率は、28年度末で97%であり、全国平均や県平均を上回っているが、さらに未普及地域の解消を進めてゆきたい。雨水対策については、近

働きかけられた。子ども教育政策の一層強化されたい。以上の要点説明後、磯田市長から、各項目への対応や考え方が述べられた。

「情けは人のためならず」ということわざ、「情けをかけてはいけない」という誤った意味で使われることは減ってきたようですが、「情けをかけるのは人のためではなく、自分のため」ということとらえ方も分かれていくようです。一つは、人に恩を売っておくと結果的に自分の利益につながりませんよ、という見返りを期待するもの。もう一つは、人に情けをかける、親切にするのは人のためではないですよ、親切にする人の徳になり、信用につながるといふものです。▼連合総研では、設立30周年事業として「連帯・共助のための社会再編に関する研究委員会」を立ち上げ、報告書「「分かち合い」社会の構想」を岩波書店から刊行しました。この報告書では「市場拡大社会抑制 社会拡大」路線の戦略を示し、欲望の「奪い合い」

休後には、「障がい者の理解と共生社会の構築」がテーマで、伊野善貴氏(長岡市福祉課主任)から次のような講演を受けた。

障がいには①身体障がい②知的障がい③精神障がい④その他の障がい(発達障がい等)等様々なものがあり、長岡市では、およそ1万5千人位の障がい者がいます。こうした障がい者と接するためには、障がいの状況に応じた気遣いや思いやりが大切です。最近

また、職場における発達障害の人との接し方については、共に働きやすい職場にするため、課題となりつつあります。参加者からは市への要望も含まれてきた。程、多くの質問が出され、有意義なセミナーとなった。(退職者連合高橋)

東蔵王2

《No.267》



副議長 横澤勝之

から幸福の「分かち合い」と社会を転換するための方策と、実現に向けた道筋について提起しています。この報告の序章に「人間の幸福は「奪い合う」ものでなく、「分かち合う」ものである。悲しみを「分かち合う」ことができれば、悲しみを分かち合ってもらった者だけではない、悲しみを分かち合った者も幸福を実感する。人間が幸福だと実感する時は、自己の存在が他者にとって必要不可欠な存在だと実感できた時だからである。」とあります。▼今の社会は、自己責任の名の下に情けを切り捨てるか、投資のように情けをかけて、見返りを求める欲望の奪い合いの社会です。ことわざの本当の意味である「分かち合い」の社会を広げたいですね。「ほどこせし 情けは人の為ならず 己がこころの 慰めと知れ」(新渡戸稲造)

サラリーマン川柳(ボーナス日 一日だけの)

下剋上)

(じいちゃん)

めがねの上から

涙ふき)

(歳かなあ)

妻が美人に

見えてくる)

(居酒屋の)

すみでこっそり

男子会)

各支部総会特集

連合中越地協 各支部が総会を開く

新年度の活動を開始

南魚沼支部

数日前から降り始めた雪であつという間に冬の景色となった12月14日(木)、金誠館(南魚沼市)にて第10回南魚沼支部総会を開催しました。連合中越地域協議会の渡部副議長をはじめ、今年10月に行われた南魚沼市議会議員選挙で連合新潟が推薦し初当選された梅澤道男議員など、来賓の方々からご祝辞をいただきました。報告事項、審議事項はいずれも原案どおり承認され、来年度も支部の活動を活発に進めていくことを全会一致で確認しました。



最後に新任された阿部副支部長の団結ガンパローで総会を締めくくり、終了後には引き続き同会場にて懇親会を開催し、単組間の意見交換や交流を深めることができました。

連合小千谷支部だより

今回は先日、11/18(土)に連合小千谷支部と小千谷地区労福協の合同で開催致しました、「ライフプランセミナー」「クリーン作戦」について報告致します。

会場となる「旧小千谷総合病院※1」には総勢83名の組合員と家族の方にご参加頂きました。イベントは午前10時30分より開会式を行い、当日は生憎の雨によって第一部の「クリーン活動」は実施できませんでしたが、第二部のセミナーとして、労金小千谷支店細木支店長様から「税金と資産運用」を題材にした講話をして頂きました。また、子供たちについてはDVD上映会を開催しました。



第二部は昼食会として、お弁当とトン汁を食べ、その後、豪華景品の当たる?恒例のビンゴ大会を行い有意義な1日となりました。

今年度の労福協の活動はこれです終わりですが、来年度も色々な活動を行っていきますので多くの組合員の参加をお願い致します。

※1 旧小千谷総合病院は今春閉院となった後、新たな公共施設を整備するまでの暫定として今夏から現建物の一部をイベント会場として市民に無料で開放しています。



見附支部

12月5日(火)見附市のホテルつるやにて第12回見附支部総会を開催しました。初雪の舞う中での開催でしたが、地区の産別構成単組の役員の皆様より多数のご出席を頂き、1年の締めくくりと次年度へのスタートを誓いました。

また連合中越地域協議会の矢島議長をはじめ、衆議院議員菊田まき子様、見附市議会より佐々木志津子様、木原大輔様、労金長岡北支店込山支店長様、総合生協中越支局山田支局長様よりご祝辞と激励の言葉を頂きました。

2017年報告事項ならびに2018年議案事項はすべて原案通りに承認され、新支部長に火山健悟氏(JP労組新潟県央支部)が選出されました。火山支部長は挨拶の中で「今一度、原点を振り返り連合運動と組織の強化を地域の皆さんと話をしながら共に一歩ずつ進めてゆきたい」と述べ、2018年度の躍進を祈念した団結ガンパローを力強く掲げ総会を締めくくりました。



北魚沼支部

12月11日(月)小出郷福祉センターにて、第1回単組代表者会議兼第10回北魚沼支部定期総会を開催しました。

連合中越地域協議会の横澤副議長より来賓の挨拶をいただき、北魚沼支部の1年間の行動報告・決算報告をし、11月22日開催の連合中越地域協議会の総会での重点課題等により、北魚沼支部の次年度の支部活動、予算、幹事会体制等を確認しました。総会宣言の承認後、次年度の活動に対して山本支部長の「団結ガンパロー」で締めくくりました。

総会終了後、単組交流会を開催しおおいに交流を深めました。



小千谷支部

11月27日(月)に第10回連合中越小千谷支部定期総会が、プラザ片山にて開催されました。

当日は連合中越地協副議長羽賀様をはじめ、参議院議員風間直樹様秘書であります居上様、小千谷市長大塚様、小千谷市議会議員長谷川有里様、駒井和彦様よりご祝辞を頂いた後、1年間の活動総括と2018年度の支部活動及び予算の承認を頂きました。総会の最後に今年度より新しく支部長に就任しました、佐藤支部長のご発声のもと、「団結ガンパロー!」で締めくくりました。

その後は別室に移り、懇親会を行いました。新支部長の下、今年度も地域に根ざした活動に取り組むことを確認しました。



サラリーマン川柳 (我が家ではママと合流 勝ち組に) (ちょっとだけ意見がとおる ボーナス日) (地図アプリ ひらいて悩む ここはどこ) (本音言う 鏡がほしい 試着室)